

第65期 第1回 日本物理学会男女共同参画推進委員会 会議録

日時：2009年11月21日（土）13:30～16:50

場所：日本物理学会会議室

出席：松尾由賀利、中島美帆、米永一郎、加賀山朋子、松島房和、嘉規香織、笹尾真実子、
板倉明子（ネットコメンテータ）、鳥養映子（ネットコメンテータ）

欠席：有光直子、門野良典、五神真、鳥井寿夫、二宮正夫

冒頭、委員長より、委員会における各人のよび方について旧来からの伝統で「さん」づけに統一したいとの提案があり、了承した。さらに、メールでの敬称もひらがなで「さま」とすることにした。また、委員長より、米永氏に副委員長を引き受けていただいたとの報告があった。

新メンバーによる第1回の委員会なので自己紹介をした。

議題：

I. 報告事項

(1) 前回議事録確認

[資料1] の案が承認された。

(2) サブグループ報告（物理教育分科との連携）：（米永委員）

[資料2] に基づいて2009年秋（熊本大）日本物理学会物理教育分科における講演の報告があり、意見交換した。

・春のインフォーマルミーティングの流れから、女子中高大学生を対象とする理科教育の話題が盛り上がることを期待していたが、会では教育方法に関する講演が主体で、若干議論がかみ合わない感があった。

・今後も物理教育との連携を模索するとともに、物理教育分科にこちらの希望するセッションを伝えることなども有用であろう。

・次の学会には、2008年と2009年の夏の学校と関西ジュニア科学塾における物理学会の活動を報告する。

(3) サブグループ報告（学協会連絡会シンポジウム）：（嘉規委員）

[資料3] に基づき報告があった。特に以下の点が印象的であったとのこと。

・各学会が1年間の取り組みのポスター発表をしたが、それ以上に、振興調整費をうけた大学のポスターが意気盛んであった。

・企業の中には、人材の多様性(diversity)の確保こそ発展の鍵ととらえる企業があり、女性社員の増加を図っている。この点はむしろ大学、公的研究機関などより進歩している。

これらをもとに交換した意見のなかのいくつかは以下の通り。

- ・企業の中には、女性を入れることに意義を見出している企業も、逆の企業もある。
- ・男性も女性と同等の支援策を受けることができれば、女性へのプレッシャーが和らぐ。
- ・女性の働きやすい環境は同時に男性の働きやすい環境であることをアピールする必要がある。
- ・女性が活躍しているケースの男性側のロールモデルを紹介・発信することが必要であろう。

(4)サブグループ報告（女子中高生啓発）：（中島委員）

有光委員作成の〔資料4〕に基づき、中島委員が代わりに報告し、意見交換した。

- ・メンティーからの反応はあまりないが、今後も夏の学校委員のメンターには活動を維持してもらおうよう期待が寄せられた。

(5)サブグループ報告（物理学会シンポジウム）：（松尾委員長）

次回物理学会のシンポジウムとして〔資料5〕（鳥井委員作成）のとおり「ポジティブ・アクションー加速する女性研究者育成事業と今後の展望」を申し込んだ。申込みの期日と本委員会の委員交代の時期が重なるので、この題は8月の前任の委員会で決めてあったもの。加速プログラム採択機関に加えて、岡山大の支援モデル、産総研の加速の取り組みなどをとりいれた。

(6)サブグループ報告（広報）：学会誌記事、男女共同参画推進委だより（米永委員）

〔資料6〕（学会誌の男女共同参画推進委員会だよりNo.7）を基に報告があり、意見交換した。この記事を各方面への働きかけに有効活用したいとの意見からさらに先般の事業仕分けについても意見が出された。

- ・松尾委員長からは事業仕分けの傍聴報告があった。研究者支援よりは環境整備を優先する動きや、保育園との比較などが紹介された。
- ・女性採用の際の目標数値の提示のしかたに工夫がいること、採用の基準そのもの（たとえば期間を男女同じに設定して業績を比較すれば、産休子育てで女性が不利になるような基準）が見直される必要があることなどが指摘された。

(7)サブグループ報告（学協会連絡会）：（松尾委員長）

松尾委員長より、当日急用で欠席した運営委員会について〔資料7〕の議事録（案）をもとに報告があった。

(8)サブグループ報告（広報）：科学技術系学協会提言について（加賀山委員）

提言が、事業仕分けを前に急速に〔資料8〕のようにまとめられた経緯の報告があり、意

見交換した。

- ・ポストクの吸収を民間に期待する仕分け委員の方針はいかなるものかとの意見があった。

(9) その他 (M2S 報告) : (松尾委員長)

[資料9]に基づき、Special session of M2S (9th International Conference on Materials and Mechanisms of Superconductivity, Tokyo) について報告があった。数十名の聴衆が参加。フランスや台湾など、すでに日本より女性比率が高い国でもさらに努力がなされていることが印象的であったとのこと。

II. 審議事項

審議に先立ち松尾委員長から本日の参考資料について説明があった。

(1) 第65期役割分担

議題(2)も一緒に含めて今期の委員の仕事と役割分担を決めた。委員は以下のとおり(先頭の委員が取りまとめ役)。参考資料は[参考資料4](昨年(2009)の第1回議事録)。

- ・学協会連絡会 . . . 有光、門野、松尾
- ・学協会連絡会シンポジウム . . . 米永、門野、笹尾
- ・女子中高生啓発(夏の学校など) . . . 松島、中島、嘉規、(アドバイザー:有光)
- ・物理学会シンポジウム . . . 鳥井、二宮
- ・広報 . . . 笹尾(情報発信)、米永(原稿依頼)、五神
- ・ホームページ . . . 中島、加賀山
- ・アンケート分析 . . . 加賀山、松尾

広報、ホームページ、アンケート分析はお互いに密接にリンクした活動となる。

(2) 今後の活動について(2010年春年会シンポジウム、広報、アンケート分析、女子中高生啓発、学協会連絡会、他)

議題(1)の役割分担の際に、例年の具体的な仕事内容をあげつつ、今期の重点項目を検討した。このほかに、今期の課題としては、応用物理学会等分野の近い学会との連携の方法を検討するのがよいのではないかとの意見があった。

(3) 次回委員会日程

春の学会の前にできれば一度開きたいとの委員長の意向から、来年1月開催で日程調整してみることにした。ただし、各委員の都合次第で学会会期中か学会後になることもありえる。

(4) MLについて : (松尾委員長)

スパムメールなどの問題からメーリングリストの名称を変更することになっていたが、シ

システムに不具合があるため、今しばらく旧名称で継続させて頂きたい。

メーリングリストへ新たに追加する方：夏の学校へ嘉規委員、連絡会へ門野委員。

(5)その他

事業仕分けをきっかけとして、本委員会の意見を一般の人にも理解してもらえるように発信するのが良いが、どのようにしたらよいかを検討した。学会のホームページに載せるなど学会もしくは委員会として発信できればよいとの意見が出た。提言に書かれていることは、あくまで方策の1つにすぎず、10年後、20年後のより良い社会を目指すという視点から、笹尾委員に起草してもらうことになった。

資料1：前回議事録

資料2：物理教育分科での講演報告

資料3：第7回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加報告

資料4：平成21年度夏の学校事後報告

資料5：第65回年次大会シンポジウム提案書

資料6：男女共同参画推進委だよりNo. 7

資料7：男女共同参画学協会連絡会第7期第4回運営委員会議事録（案）

資料8：第4期科学技術基本計画及び男女共同参画基本計画(第3次)への提言

資料9：SpecialsessionofM2S(Tokyo)

(9th International Conference on Materials and Mechanisms of Superconductivity)

参考資料1：女性比率調査2007, 2009年

2007年と2009年の男女共同参画学協会連絡会の報告、調査結果

参考資料2：学協会連絡会提言参考資料

参考資料3：行政刷新会議事業仕分け3-39

施策・事業シート(概要説明書)、論点等説明シート(予算担当部局用)、他

参考資料4：第64期第1回日本物理学会男女共同参画推進委員会議事録

(以上：文責 松島房和)